

- ▶ 日本語に興味津々! 日本語と韓国語!! 〈その2〉
- ▶ 知っ得情報! : 「IT導入補助金」(2019年度)まもなくスタート!?
- ▶ フォント あ・ら・かると: 「ぶらっしゅ」
- ▶ もりもじかわら版: macOSにおける、Adobe製品の対応は?
- ▶ イベント情報

今月の
フォント

- 本文: UD新丸ゴ (L)
- 見出し: モアリア (B)



2019.5

www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news

日本語に興味津々! 日本語と韓国語!! 〈その2〉

時代を遡ると日本語と韓国語には多くの共通点がありました。今回は、日常会話の中にみられる繋がりを探ります。

本記事は、「我楽多頓陳館」(www.snap-tck.com/)のご好意により掲載しています。

前回のあらすじ

前回(第169号)は、日本語と韓国語について、日本人の成立を踏まえながら、日本語と韓国語の母音や発声法を比べ、最後は「ヤ行」「ワ行」の不思議についてご紹介しました。今回は、さらに日本語と韓国語の発音を比較しながら、その関わり合いや方言に秘められた古代日本語の名残を紐解いていきます。

日本語と韓国語の発音(音読み)

ワ行が母音として使われなくなったため、「ヴァ」「ヴィ」「ヴ」「ヴェ」「ヴォ」という発音が、「バ」「ビ」「ブ」「ベ」「ボ」と区別が付かなくなってしまっているというお話を前回しました。

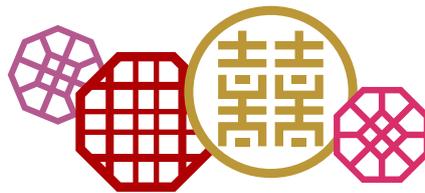
古代においてワ行が母音として使われていた証拠は、旧仮名遣いに残されています。たとえば「関」の音読みは旧仮名遣いでは「くわん」と表記され、昔は実際にも「kwan」と発音されていました。これに対して「間」は旧仮名遣いでも「かん」と表記され、昔から「kan」と発音していました。そして興味深いことに、韓国語で「関」を音読みしますと「kwan」となり、「間」は「kan」となるのです。

また「甲」の旧仮名遣いは「かふ」であり、実際にも「kafu」に近い発音をされていました。古代の日本語では八行の音は破裂音の帕行で発音されていて、やがて八行になっていったと考えられています。たとえば「日本」は、ニッポン(nippon)→ニフォン(nifon)→ニホン(nihon)と変遷してきました(現在の正式な国名は「ニッポン」です)。したがって、古代では「かふ」は「かぶ」と発音されていたと考えられます。そして、「甲」を韓国語読みすると「kap」なのです。

つまり、旧仮名遣いは単なる表記上の古い習慣ではなく、最初は発音どおりに仮名で表記

していたものが、そのうちに発音が徐々に変化し、表記だけが古いまま残ってしまったものなのです。一般に発音の変化は表記の変化よりも早いため、日本語に限らず、どの言語でもこういった現象が起こります。たとえば英語は表記と発音が食い違っているものが多いのですが、これは英語が旧仮名遣いに相当する表記法であることに原因があります。

日本語の旧仮名遣いは、おそらく万葉仮名あたりにその起源があるものと思われませんが、それは古代日本語の発音と古代韓国語の発音が、非常によく似ていたことの名残であると考えられます。実際、現在の日本人では区別しにくい旧仮名遣いを、日本語も理解できる韓国人なら、苦もなく区別できるということです。



方言に隠された意外な事実

各地の方言に古い母音が残されている例としては、たとえば名古屋弁があります。名古屋弁では「やるきゃあ」とか「やるみゃあ」のように、ヤ行の母音を多用しますし、「ちよーでえよ」のように、乙類*の「エ(アに近いエ)」が母音として残っています。

また山陰地方から東北地方一帯にかけて、いわゆる「ズーズー弁」が残っていますが、この方言とよく似た発音が韓国語、とくに慶尚道(キョンサンド)地方(朝鮮半島南東部、古代の新羅に相当)の方言に現存していることも有名です。たとえば東北弁では「おら、東京さ行ぐだ」

のように、語中の清音が濁音として発音されることがあります。この語中の清音の濁音化は、韓国語では一般的な現象です。さらに日本語と同じように韓国語の肯定文は「…ダ」で終わり、疑問文は「…カ?」で終わります。この「ダ」と「カ」の発音は、日本の共通語よりも東北弁の「…だ」と「…か?」の発音に近いのです。

韓国の最南端、日本の対馬とほんの目と鼻の先に、済州島(ジェジュド)という島があります。この島の方言は標準的な韓国語とひどく異なっていて、済州島以外の人にはほとんど聞き取れないほどだそうです。そして、その方言は古代からあまり変わっておらず、しかも日本語とよく似ているのです。

面白いことに、言語や文化は元々の発祥の地よりも、それが伝来した土地において古い形式のまま残りがちです。発祥の地では時代の流れにつれて形がどんどん変わるのに対して、伝来した土地では形からマネすることが多く、内容をはっきりと理解しないまま、形式だけを律義に守り通すからでしょう。日本における仏教のお経や、フランス式のテーブルマナーなどがその典型です。これらは、本家本元の発祥の地では既に歴史的なものになりつつある言語とマナーです。「伝来文化は形骸化して残る」わけです。その意味で日本海側の地方の方言と済州島の方言は、古代朝鮮語と古代日本語の繋がりを解明する上で重要なカギとなる気がします。

「数」の数え方に表れる共通点

日本語の発音と韓国語の発音が古代では非常によく似ていて、それが時代とともに次第に音韻変化していった様子は、色々な言葉から確かめることができます。たとえば中国語から取り入れた漢数字の読み方を両方の言語で比べ

* 万葉仮名では同じ「イ」「エ」「オ」という母音を持つ音が2つのグループに分けられ、2種類の漢字で区別して表記されており、そのうち多い方を「甲類」、少ない方を「乙類」としている。(第169号参照)

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
中国語	イー i	アル er	サン san	シイ si	ウー u	リウ liu	チー chi	パー pa	チュ tiu	シー shi
韓国語	イル il	イー i	サム sam	サー sa	オー o	ユク yuk	チル chil	パル pal	ク ku	シブ ship
日本語	イチ ichi	ニ ni	サン san	シ si	ゴ go	ロク loku	シチ shichi	ハチ hachi	キュウ kyu	ジュウ ju

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
韓国語	ハナ hana	ツール tul	セート set	ネート net	タソト tasot	ヨソト yosot	イルゴブ ilgop	ヨドル yodol	アホプ ahop	ヨール yol
日本語	ヒイ hi	フウ fu	ミイ mi	ヨウ yo	イツ itu	ムウ mu	ナナ nana	ヤア ya	ココ koko	トオ to

▲発音で示す各国の数の数え方

てみると、その音韻変化の様子から、これらの言葉が古代中国語から古代朝鮮語を経て古代日本語に取り入れられたということ、何となく実感することができます。

また日本と韓国には、漢数字以外にそれぞれ独自の数え方もあります。韓国語の「ハナ」は「ハナから(最初から)」という日本語の語源であるという説があり、これは大いに有り得ることだと思えます。外国語の単語の中で、数の数え方は最初に覚える言葉の一つだからです。

たとえば、これと似た言葉に「ピンからキリまで」という言葉があります。これは、ポルトガル語でカルタの1を表す「pinta」が「ピン」となり、十字架つまり10を表す「cruz」が「キリ」となったものです。

また日本独自の数え方も、実は独自ではなく、古代の高句麗の方言が元になっているという説もあります。古代の高句麗では3は「ミ(mi)」、7は「ナナ(nana)」、10は「ト(to)」と発音したのです。3才くらいまでの赤ちゃんのことを、日本語で「嬰兒(ミドリゴ)」といいます。これは、古代でははっきりと3才までの子供のことでした。古代韓国語で周年のことを「ドル」といい、子供が3才になったことを高句麗弁で「ミドル」といいました。これが嬰兒の語源と思われるのです。

「三つ児の魂百まで」という言葉があり、七五三を祝うことからわかりますように、古代の人は3才が大きな区切りだと考えたのでしょう。古代は数えて年を数えたはずですから、3才児といえは満2才になるかならないかぐらいの頃です。この頃はちょうど乳離れる時期に相当し、脳細胞が発達して人格ができて始める時期ですから、たしかに赤ちゃんから子供に成長する区切りの時期です。



日常会話のなかに韓国語の名残

ちなみに「赤ちゃん」の語源は、一般にいわれている「生まれたばかりの子供の体が赤っぽい

ことに由来する」のではなく、韓国語の「アガ(赤ちゃん)」からきているという説の方が納得できます。生まれたばかりの赤ん坊は新生児黄疸症状が出やすいですから、泣き叫んでいる時は赤ら顔になりますが、静かにしている時はむしろ黄色っぽいのです。

赤ちゃんに関する言葉には、古代朝鮮語が語源と思える言葉がたくさんあります。たとえば乳房を意味する幼児語「おっぱい」の「パイ」は、古代朝鮮語で「吸うもの」という意味です。赤ちゃんにとって母親の乳房は『吸うもの』ですから、「おっぱい」とか「パイパイ」とか呼んだというのはたしかに納得できます。また「乳」も韓国語の「チョッ(乳)」が語源だと思われるし、「おんぶ」は韓国語の「オプバ(おんぶ)」が語源だと思われます。それから母親が赤ちゃんを叱る時の言葉に、「メッ!」または「メンメッ!」というものがあります。この「メ」は韓国語で「鞭(ムチ)」のことであり、「メンメ」はその幼児語なのです。韓国の母親は、子供を叱る時に昔から「メンメでぶつよ!」と脅したそうです。その言葉が日本にもそっくりそのまま残っているわけです。

その他にも韓国語で高いという意味の「ノップン」が「ノッポ」になったり、口の意味の「イプ」が「いぷ→いふ→言う」になり、耳の意味の「キ」が「聞く」になり、鼻の意味の「コ」が「嗅ぐ」になったりと、韓国語が語源と思われる言葉は非常にたくさんあります。また今まで解読不能だった万葉集の歌が古代朝鮮語で簡単に読めたり、意味のない言葉だといわれていた枕詞が、古代朝鮮語で読むと重要な意味を持っていたり、古代の土地や神の名前が古代朝鮮語に由来していたりと、さまざまな分野で古代朝鮮語との深い関係が解明されてきています。

古代日本語に興味を抱く

日本の言語学者による従来の日本語と韓国語の比較研究では、両言語で同一起源と思われる単語は200程度しかなく、音韻の類似性も少ないため、両言語が同系の言語であることを裏付ける証拠は充分ではないとされていますが、

さまざまな角度からアジア全体に目を向け、改めて幅広く日本語と韓国語の関係を探ってみると新たな発見があるかもしれません。

現代よく使われている外来語を考えても、「サボる」(“sabotage”の略)のようにほとんど日本語化しているものや、「トランプ」(“trump”: 本来は切り札のこと。原語では“card”)のように、原語とは意味がズレてしまっているものがありますし、「ナイター」のような和製英語もたくさんあります。一つひとつの言葉には、各々にその成立ちや関わり合い、変遷があります。それら歴史を辿って来た言葉を、私たちは日常会話の中で何気なく使っていることに気づきます。



今後の研究に期待

今後の日本語の研究においては、日本語の中だけで語源を探すのではなく、韓国語や古代朝鮮語の研究も併せて行えば、難解な疑問もその答えの糸口が見つかるかもしれません。古代の日本文化が中国から直接的に受けた影響よりも、朝鮮半島を経由して間接的に受けた影響の方が多だろうことは、地理的に見ても歴史的に見ても決して不思議なことではないと思われる。たとえば、飛鳥にある有名な謎の遺物「二面石」や「亀石」と同じような石像が、韓国の済州島では大昔から現代まで魔除けとして使われていたり、藤ノ木古墳から出土した馬具や王冠とほとんど同じ物が、随分以前に新羅の王の古墳から出土していたということもあります。本来、日本の研究者と韓国の研究者が協力し合えば、日本語と韓国語の関係だけでなく、日本文化と韓国文化の関係も必ずや解明されることと思います。そう遠くない将来に、そのような共同研究が行われ、新たな解釈や日本と韓国、日本語と韓国語の深い繋がりが明らかになるでしょう。

掲載後記

今回の掲載を終えて、何よりも日本語やそれぞれの言語の奥深さを感じます。世界には数多くの言語があり、また方言もあり、その成立ちには長い歴史が刻まれています。独特の文化を継承して来た日本語に、今後はさらに興味を持って触れ合っていきたいものです。

最後になりましたが、今回の掲載を快く承諾いただきました「我楽多頓陳館」の杉本様に感謝いたします。 完

2018年度は、「IT導入補助金」の活用により、多くのお客様にモリサワ製品をご導入いただきました。2019年度に関しては、具体的な申請手続きなどは未公表ですが少しずつ概要が見えて参りました。さて、平成30年度補正「IT導入補助金」はどうなるのでしょうか。

◆スケジュール

「IT導入補助金 2019」のスケジュールが発表されました。具体的には下表の通りですが、今回は、昨年度に比べて補助金額が高額になっ

たこともあり、2種類の類型とともに補助金交付申請期間も各々の設定となっています。

◆モリサワの取組み

昨年同様にIT導入支援事業者として補助金申請のお手伝いをさせていただけるよう、現在は支援事業者としての登録申請中です。支援事業者として承認を受け次第、取扱い製品(ITツール)の登録を進めて参りますが、各ITツールに求められる役割として「顧客対応・販売支援」や「会計・財務・資産・経営」などの効率化

項目が挙げられており、必要なプロセス数がA類型で2項目以上、B類型では5項目以上(前回は2項目)を条件とされていますので、ITツールの登録はかなり厳しい審査になりそうです。

◆公募申請の手続き

昨年度に引き続き、本年度の申請に際しても「経営診断ツール」の実行と「SECURITY ACTION自己宣言」(セキュリティ対策の宣言)が必要となります。これらはITツールの導入を検討されているお客様にて対応していただくこととなります。

また、法人の実在証明として「履歴事項全部証明書」と税務署が発行する平成30～31年中に納税された法人税の「納税証明書」(その1もしくはその2)の提出が必要とされています。さらになりすまし防止策として、SMS(ショートメッセージ)を利用した申請者確認が実施されるため携帯電話の登録も必要になります。

いよいよ今年も「IT導入補助金」が始まります。モリサワ製品をはじめ、ソフトウェアの導入の際にはぜひともご活用をご検討ください。

		A類型	B類型
公募期間 (一次公募)	開始	5月27日(月)	5月27日(月)
	終了	6月12日(水)	6月28日(金)
採択予定日		6月26日(水)	7月16日(火)
補助金額	上限	150万円未満	450万円
	下限	40万円	150万円
補助対象経費区分		ソフトウェア費、導入関連費	
補助率		1/2以内	
効果報告(後年)		3回	5回

永 フォント あら・かると ぶらっしゅ

▶ 今月号のあら・かるとでは、「ぶらっしゅ」を取り上げます。

「ぶらっしゅ」は、太いブラシで描いたような荒さを持たせたデザイン書体です。始筆・終筆部に勢いを持たせ、インパクトのある字面に仕上

げています。組んだときに隙間や黒みの差が出ないように、文字の外側を最も太い線で囲むようにデザインしました。曲線部では実際の筆の動きと同じように、筆を入れ直したような処理をしています。また、文字のフトコロを大きくして、見やすさ、読みやすさにも配慮した設計として

います。筆の勢いを形式化したエレメントは、ゴシック体と異なる味付けと強さを演出してくれます。素朴で親しみやすい雰囲気も持っているため、温かさを感じさせたい時にも最適な書体です。ロゴマークやタイトル、テレビのテロップなど、目を引くようなデザインに仕上げたい時にぜひご活用ください。

●使用例

ぶらっしゅ 早期割引 大爆笑! スペシャル番組!
Too many cooks spoil the broth.
先手必勝
新春超神業バトル

永	あ
鱗	ア
永	

「ぶらっしゅ」は、『MORISAWA PASSPORT』をご契約のお客様はいつでもインストールしてご利用いただけます。『TypeBank PASSPORT』、『TypeBank SelectPack 1 / 5』、およびWebフォントサービス『TypeSquare』でもご利用いただけます。

前号ではWindowsのサポートとAdobe製品に関する記事を書きました。それではmacOS環境ではどうなのか、という疑問を感じる人もいるのではないのでしょうか。DTPでの利用では、むしろMacの利用率のほうが高いでしょうし、実際の状況はどうなのかを知りたい人は多いはず。この機会に改めてチェックをしてみましょう。

Mac用のOSは、ハードウェアの変遷とともに、OSの仕様や名称が様変わりしてきました。バージョン10.12 (Sierra)以降のOSでは「macOS」としての名称になり、現在の10.14 (Mojave)に繋がっています。

そのサポート期間については、Windows環境と比較すると、あまり長くないのが実状です。Apple自体はサポート期間を明確にしているのですが、リリース日と最終セキュリティアップデートの配布日を確認し、それを各OSバージョンで見比べてみると、サイクルが明確になります。実は10.7以降のバージョンは、リリースからおよそ3年でセキュリティサポートが終了しているのがわかります(図①参照)。10.7はMac App Storeで入手できるようになった最初のバージョンで、10.8以降は事実上無償で提供されるようにはなりませんが、その代わり、1バージョンあたりのサポートサイクルが短くなった、といえるところです。

さらにAdobe製品の対応バージョンを確認してみましょう。ここでは前号と同様に、CS4以降のバージョンをすべて確認しています(図②参照)。一つのOSバージョンで対応するAdobeアプリケーションは、最大でも4

バージョンのみで、最近のバージョンでは3バージョンのみの対応と、範囲が狭いことがわかります。もちろん、Adobe製品の新しいバージョンを対応外の旧OS環境へ導入することはできず、新バージョンを利用する際には必ずOSバージョンの移行が必須です。

それでは逆に、新しいOSにAdobeの旧バージョンを入れることはできるのか、という疑問も出るでしょう。実はインストール自体は可能です。しかし動作保証外の利用は、業務利用では避けるべき話でしょう。またデータ交換の影響も生じます。OS付属のフォントを利用した場合、ヒラギノフォントはOSバージョンによってバージョン・互換性が変わるため、文字組みが変わるおそれがあります。これはヒラギノフォントのサポートサイトにも掲載されています。

最後に影響があるのは、サポート終了したOSを継続利用してしまうリスクです。これはどのOSにおいても同様ですが、セキュリティサポートが終了したOSではウイルスやマルウェアなどの脅威から逃れることができなくなります。一部では「Macはウイルスに強い」といわれていますが、実際には断言できず、2016年には前年比で700%以上も被害が増加したという報告もあります(<http://fortune.com/2017/04/08/apple-malware-adware-mcafee/>)。業務利用でのリスク回避はMacでも変わりなく、感染して情報漏洩した場合のリスクは計り知れません。OSサポートに合わせた定期的なメンテナンスを行うべきなのはMacでも同じですから、「Mac環境=いつも安全」と思わずに、システム運用を考えて利用するようにしましょう。

バージョン(名称)	リリース日	最終アップデート日	サポート年数
10.0 (Cheetah)	2001.03.24	2001.06.22	0
10.1 (Puma)	2001.09.25	2004.01.26	2.5
10.2 (Jaguar)	2002.08.24	2005.01.25	2.5
10.3 (Panther)	2003.10.24	2007.11.14	4
10.4 (Tiger)	2005.04.29	2009.09.10	4.5
10.5 (Leopard)	2007.10.26	2011.06.23	3.5
10.6 (Snow Leopard)	2009.08.28	2013.09.12	4
10.7 (Lion)	2011.07.20	2014.09.29	3
10.8 (Mountain Lion)	2012.07.25	2015.08.13	3
10.9 (Mavericks)	2013.10.22	2016.07.18	3
10.10 (Yosemite)	2014.10.17	2017.09.12	3
10.11 (El Capitan)	2015.09.30	2018.07.09	3
10.12 (Sierra)	2016.09.20	?	?
10.13 (High Sierra)	2017.09.26	?	?
10.14 (Mojave)	2018.09.24	?	?

① Mac用OSの各バージョンのリリース日とサポート終了日をチェックすると、サポートサイクルが推測できる。現行サポートのバージョンでも同様になると考えるのが自然だろう。

	CS4	CS5.x	CS6	CC (2013)	CC 2014	CC 2015.x	CC 2017	CC 2018	2019*4
	2008.12	2010.5 2011.5	2012.5	2013.6	2014.6	2015.6 2016.6	2016.11	2017.10	2018.10
10.6	●	●	●	○*3					
10.7		●	●	●	●				
10.8		●*1	●	●	●				
10.9			●*2	●	●				
10.10					●	●	●		
10.11						●	●	●	
10.12							●	●	●
10.13								●	●
10.14									●*5

② MacにおけるAdobe製品の対応バージョンはOSサポートサイクルに合わせたものとなる。注意したいのは最新OSの対応で、最新バージョンしか動作保証されない。またMacの場合、プリインストールよりも前のOSを導入できないため、買替えの際にはバージョン変更を伴うと考慮しておく。

*1 Flash CS5.xは対象外です *2 一部の動作に制限を受けます。またFlash CS6は対象外です
*3 InDesignとIllustratorのみ対応します *4 2019年4月3日アップデートで「CC」の表記が原則なくなりました *5 2019年4月現在、Photoshopを除いては公式の文書内でも対応の記載がありませんが、実際には対応しています

イベント情報

JP2019・ICTと印刷展

会 期：5月31日(金) 10:00-17:00 / 6月1日(土) 9:30-16:00 会 場：インテックス大阪5号館

テーマ：Start up Ocean Front ～自動化設備を満たす需要創出策から始めよう～ 主 催：JP産業展協会

編集後記

一般的に10連休となった今年のGWですが、みなさまはいかががお過ごしでしょうか。暦通りに休めている方もあれば、新元号のスタートとともに慌ただしく5月を迎えられた方もおられるのではないかと思います。さまざまなメディアで「平成最後の○○」と銘打った企画が続いたかと思うと、次は「令和最初の○○」と街中が引続き賑やかな状況です。この活気とともに景気も上昇し、清々しく暑い(熱い)夏がやって来てくれることを期待しています。

✉ E-mail: m-news@morisawa.co.jp

発行:株式会社モリサワ 企画・編集:ユーザーサポート部

※記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

モリサワ www.morisawa.co.jp

株式会社モリサワ

本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel:06-6649-2151
 東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-27 Tel:03-3267-1231
 仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-8 Tel:022-296-0421
 名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-5-10 Tel:052-201-2341
 札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西2-6 サウスシティ2F Tel:011-700-0112
 福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-3-25 Tel:092-411-5875
 鹿児島営業所 〒890-0051 鹿児島市高麗町11-3 下田ビル2F Tel:099-252-2255